

学術集會に参加して

多田 京子

岡山済生会総合病院



令和元年6月19日～21日道民活動センターかでの2.7において日本がん登録協議会第28回学術集會が開催されました。院内がん登録の実務者として、他院の分析を参考にさせていただきと初めて参加しました。発表を聞きまず驚いたのは、多くの先生方が院内がん登録を利用した研究に取り組まれていることでした。実務者においても、数多くの興味深い発表がされており、そのなかでも、当院同様に入外分離を行った施設の入外を通した院内がん登録データの一体化作業については、今後の業務効率化につながる内容でした。また、子宮頸がんの死亡率分析による県の健診政策への提言などは、今後の分析に大変参考となりました。当院が発表した、大腸がん・胃がん手術のステージ別医療費については、岡山県の参加者より『ステージが高くなるにつれて医療費が増加することは想像できたが、具体的な金額が示せれば、健診受診を促す材料となる。がんの早期発見や早期治療ができれば、医療費が削減でき、県の高額医療負担の減少につながられる』とのご意見をいただき、今後の分析テーマにつなげることができました。

学会2日目の夜には、岡山県からの参加者で北海道の幸を囲みながら、がん登録業務での悩みや問題点、今後のデータ活用について岡山県のがん登録部会として何ができるかなど熱く意見を交わし、楽しい時間を過ごすことができました。

この学会は、先生方の専門的な研究から、実務者の身近な分析まで幅広い内容となっていました。この学会が、院内がん登録実務者同士刺激を与えあう場となり、切磋琢磨につながれば、『院内がん登録からできること』は広がっていきます。質の高い登録に努めながら、今回得た情報を元に『何を目的にどうすべきか』を考えながら業務に取り組んでいきたいと思っています。

藤本伊三郎賞を受賞して

碓井 喜明

愛知県立がんセンター



この度は荣誉ある藤本伊三郎賞を受賞させていただき、誠にありがとうございます。私は2018年より愛知県がんセンターにてがん疫学の研究に取り組んでおります。このような早い時期に受賞となりましたのは、ひとえにみなさまのご指導を賜りましたお陰と存じます。心より感謝申し上げます。

この度の受賞の対象となりましたのは、2019年6月にカナダのバンクーバーにて開催された国際がん登録学会の口頭発表である「Impact of novel agents on multiple myeloma: trends of incidence and mortality in Japan」という研究です。多発性骨髄腫(骨髄腫)治療の新規薬剤が2000年代に多く開発され高齢者にも様々な治療の選択肢が広がり、生存率の改善も多く報告されています。今回の研究では新規薬剤導入前後の期間(1995～2015年)の骨髄腫の全国の年齢調整死亡率・年齢階級別死亡率、13府県(宮城県、山形県、千葉県、神奈川県、新潟県、福井県、愛知県、滋賀県、大阪府、鳥取県、山口県、長崎県、熊本県)における年齢調整罹患率・年齢階級別罹患率を算出しJoinpoint回帰分析により経年変化を評価しました。年齢調整罹患率は有意に上昇しているにも関わらず、年齢調整死亡率は新規薬剤の導入の時期より有意な減少を認めました。年齢階級別の解析では、特に従来の化学療法からの恩恵を受けられなかった70歳代の高齢者において死亡率の減少の傾向が顕著でした。死亡率および罹患率の推移の評価は、治療の進歩などのがん対策の適切な評価につながるすることができます。がん対策の立案・評価に貢献できるよう日々精進して参りたいと思います。

最後になりますが、各都道府県がん登録関係者の方々および日本がん登録協議会関係者の方々に感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



刊行物の販売について

JACRでは、『がん登録の手引き改訂第6版』を1冊税込1000円にて販売しております。ご購入をご希望の方は、右記QRより注文票をダウンロード頂きFAXまたはメール添付にてJACR事務局までお送りください。 ※送料のご負担をお願いしております。

3冊まで

レターパックライトにて発送。

4冊～5冊まで

レターパックプラスにて発送。

